

(一社)甲府青年会議所2023年度

年間事業計画書(案)

みんなの絆結成室	JCプロモーション委員会	委員長 梅本 学
----------	--------------	----------

1. 基本理念

(一社)甲府青年会議所の魅力を伝え仲間を発掘することで、さらなる組織拡大の原動力とする。

2. 事業名・事業目的/内容・予算・開催月

事業名	事業目的 / 内容	予算	開催月
1. JCプロモーション事業	会員一丸となって会員拡大に取り組むとともに、青年会議所活動の魅力や楽しさを伝えることで、多くの入会へつなげる。	0	通年
2. 5月例会 (つながる、ひろがる、仲間の輪)	地域住民との交流を図ることで多くの仲間を発掘し、組織の拡大へとつなげる例会を開催する。	90,000	5月
3. 12月第一例会 (卒業式)	卒業生のこれまでの活動を称え、経験や想いを承継することで会員の活動に対する意欲を向上させる例会を開催する。	50,000	12月
予算合計		140,000	

参考資料一覧

	資料名称
01	基本理念作成シート

審査、協議、及び審議指摘事項

● 第01回財総予定者会議 ●開催日 2022年09月15日(木曜日) ●審査

	指摘・質問	対応
01	JCIのロゴを2022から2023に変更してください。	JCIロゴを2023年に修正致しました。
02	JCとSNSを全角から半角に変更してください。	JCとSNSの文字を半角に修正致しました。
03	例会の副題を記載してください。	委員会メンバーと協議し、「伝えよう魅力、広げようJCの輪」と追記させて頂きました。
04	7月例会の開催月の段がずれているので整えてください。	開催月の部分を整え修正致しました。
05	組織力向上予定者会議を財総予定者会議に修正し、協議を審査に変更してください。	会議名を財務予定者会議に、また協議を審査に変更し修正致しました。
06	今後の予定がわかっている範囲で構いませんので会議の日程や開催日を記入してください。	予定を確認し各会議、また開催予定日を確認し追記いたしました。

● 第01回三役予定者会議 ●開催日 2022年09月22日(木曜日) ●協議

	指摘・質問	対応
01	面談やリストアップは行っていくのか教えてください。	リストを今年度中から過去のデータを元に作り、面談も行なっていきます。
02	事業に12月例会(卒業式)を加えてください。	追加致しました。
03	各種SNSでの発信とあるが、広報の要素が強いので事業目的に入れるのは再考してほしい。	発信も行いたいと考えて入れておりましたが、誤解を招く表現とのご指摘を鑑みて「各種SNSでの発信」という部分を削除致しました。
04	今までの入会候補者と違った層という表現は相応しくないで違う表現に変えてください。	「多くの地域の方を呼び勧誘する機会とする。」と変更致しました。
05	JCプロモーション事業の事業目的が一文になっていないので一文にまとめてください。	「(一社)甲府青年会議所の魅力を事業や例会といった活動等で宣伝することで仲間を発掘し、また全会員が拡大に取り組めるようなシステムを構築し、一丸となって会員拡大を行う。」と変更致しました。
06	基本理念の主語があやふやになっているので明確にしてください。	該当部分を修正致しました。
07	基本理念の会員を増やしという部分とその次の部分につながりがないので、つながるように修正してください。	該当部分を修正致しました。

● 第01回臨時三役予定者会議 ●開催日 2022年09月26日(月曜日) ●協議

	指摘・質問	対応
01	7月例会の事業内容の「事」の字を平仮名にしてください。	「事」を「こと」に修正致しました。

02	12月例会の副題を(卒業式・アワード)にしてください。	(卒業式)を(卒業式・アワード)に修正致しました。
03	第01回財総予定者会議の02番対応欄のjcを半角大文字にしてください。	「jc」を「JC」に修正致しました。
04	JCプロモーション事業の事業内容の「また全会員が拡大に取り組める～」の「また」という表現を別の表現に変更してください。	「仲間を発掘するとともに、会員全体で拡大に取り組める」に変更致しました。
05	7月例会の事業内容での「イベント、勧誘」という表現を別の表現に変更してください。	「様々な職種の会員がいることを活かしたイベントを開催することで、多くの地域住民を呼び勧誘する機会とする。」を「(一社)甲府青年会議所の多様性溢れる魅力を伝えることで、多くの地域住民を呼び仲間を発掘する機会とする。」と致しました。
06	12月例会に委員長の思いを入れてください。	「卒業生のこれまでの活動を称え、経験や想いを承継することにより会員の意欲向上と、組織の活性化を図る。」を「卒業生のこれまでの活動を称え、経験や想いを承継することにより会員の卒業までのJC活動の指針になるような場をつくる。」と致しました。
07	基本理念が依然としてあやふやです。	「(一社)甲府青年会議所の魅力を会員や地域住民と共感し、仲間を増やすことで組織が拡大していくための基礎をつくる。」を「(一社)甲府青年会議所の魅力を地域住民と共感し仲間を増やすことで、組織の拡大につなげる。」と致しました。

● 第02回理事予定者会議

● 開催日 2022年09月30日(金曜日)

● 協議

	指摘・質問	対応
01	上程の仕方を学んでください。	上程の仕方等の不備につきましては準備、配慮が不足しておりました。 申し訳ございません。 次回以降はこの様なことがないように準備致します。
02	委員長不在を謝るのは次年度の体制として違うのではないのでしょうか。 どう考えているのか教えてください。	次年度は体制として委員長不在でも行えるようにしています。事前に不在の状況を説明し、納得いただけるようにいたします。
03	どんな形でもいいので委員長自身で説明頂きたいです。	次回以降は出席できる様段取りをしていきます。
04	12月例会は第一・第二ではなく合同例会ということでしょうか。 教えてください。	合同例会だと考えております。
05	例会は通常1つの例会で1つの目的があるのが通常ですが、合同例会だからといって2つの目的にしたのは何故か教えてください。	合同では行いますが、前半後半に分けることで別々の目的を持たせることはできると考えております。
06	なぜ1つの例会にしたのか理由を教えてください。	合同にした方が場所の予約や予算といった面で合理的であるのと、12月の忙しい状況で会員としても2回参加よりも1回の方が参加率が上がると考えています。
07	拡大担当なのに理念や事業内容が少し拡大と違う方向に向かっています。拡大に沿った内容にした方がいいかと思います。	プロモーション委員会ということで伝えるという要素も必要かと考えていましたが、拡大を主な事業として行う委員会でありますのでより拡大に注力した内容にしたいと思います。

● 第02回財総予定者会議

● 開催日 2022年10月13日(木曜日)

● 審査

	指摘・質問	対応
01	予算概求書と計画書の金額が違っていますが、どちらが正しいですか。	予算概求書の変更にしておりました。計画書の金額が正しいです。
02	予算概求書を計画書に合わせ修正してください。	計画書と同じになるよう修正致します。
03	予算概求書の科目の書き方は決算書の科目と同じように記入してください。	科目の記入の仕方を見直し修正致します。
04	12月例会が単独での開催になったので12月第一例会に記載を変更してください。	12月例会(卒業式・アワード・納会)を12月例会(卒業式)に変更し、事業内容の(卒業式)を削除致しました。
05	今年度から引継ぎを行なってもらい、1月の第一例会には候補者を連れて来られるようにしてください。	15日の10月例会後に引継ぎを行ない、1月例会には候補者を連れて来られるよう準備を行ないたいと思います。
06	(一社)甲府青年会議所の魅力を伝えることで拡大に繋がれるのか教えてください。	(一社)甲府青年会議所活動も多岐に渡り、良さと言ってしまうと候補者の方が考える良さと一致するとは思いません。 面談する中でその候補者に合った青年会議所の良さを伝えることで共感してもらい入会に繋がれると考えています。
07	入会者の目標人数を教えてください。	現時点で来年度のスタートの人数が90名、卒業生が22名となっております。 その中で、次の年度へは100名で引継ぎ、これから先も100名を維持していただきたいとの思いから最低目標として32人を掲げています。 その先の目指すべき目標として次の年に卒業される方が10名とのことなので、次の年に仮に誰も入会しなかったとしても100名は維持できるように10名プラスした42人を目標にしたいと考えております。
08	フロー図を三役会議までに提出してください。	作成し提出致します。
09	理事予定者会議で意見を頂いた方にヒアリングを行ってください。	可能な限り全ての方にヒアリングさせていただきます。
10	今年度の勧誘用のチラシの残りを把握し、チラシ代を再考して下さい。他の目的に使用することも含めて検討してください。	チラシの残りを確認し、適切な枚数を作成致します。また、予算の使い道はより効果的な方法を検討致します。
09	年間の事業予定を他の委員長と相談しながら入れてください。	年間の予定を立て事業予定に記載致します。

● 第02回三役予定者会議

● 開催日 2022年10月17日(月曜日)

● 協議

	指摘・質問	対応
01	魅力を伝えるだけで拡大できるのか教えてください。	面談する中でその候補者に合った青年会議所の良さを伝えることで共感してもらえんと思っています。 好感を持ってもらえているのであれば入会に繋がれると考えています。
02	(一社)甲府青年会議所の魅力とは何なのか教えてください。	「能力」「人脈」「実績」が得られることだと考えています。 その中でも私が思う一番の魅力とは人脈、つまりつながりです。 この年で他業種の同年代の同じような境遇の人となんでも相談できるような仲になれるのはかけがえないものだと感じています。
03	(一社)甲府青年会議所の魅力と7月例会の所にある多様性溢れる魅力の違いを教えてください。	多様性溢れる魅力とは様々な職種・立場・経歴の人がいて、そういった方々と繋がることが出来て価値

	い。	観や意見を共有出来ることだと考えています。
04	(一社)甲府青年会議所の魅力と7月例会の所にある多様性溢れる魅力が同じようなことを言っているように感じますので違いを明確にしてください。 また、繋がりに魅力を感じるのとは分かりますが、事業内容がそこだけになり他の部分に魅力を感じる人を取り残さないようにしてください。	重複してしまう部分も出てきてしまっていますので、7月例会の事業内容の方を再考したいと思います。 魅力の部分につきましても再度検討したいと思います。
05	JCプロモーション事業の内容に育成と書かれているが、今まで当たり前にやってきたこと以外で育成をやるのか教えて下さい。 次年度は新入会員を入会后拡大委員会には配属せず、すぐにそれぞれの委員会に配属する方針です。 各委員会に育成を委ねることでJCプロモーション委員会には各委員会への出席のサポートや入会オリエンテーション等は行なってもらいますが、拡大に力を入れてもらいたいと考えています。 育成を行なうのかは室長と相談して決めて下さい。	グループ会議や意見シート等でご意見頂きまして育成も入れていましたが、再度理事長所信を読み育成は入っていないことを確認させていただきました。 浅川室長とも相談させて頂き、拡大に注力するというので決めましたので、事業内容からは育成の部分は削除させて頂きます。
06	JCプロモーション委員会が7月例会を担当する意味を教えてください。	例年、7月以降候補者のリストも尽き会員拡大活動は鈍化してしまいます。 その鈍化してしまう会員拡大活動の起爆剤として、後半も拡大していけるようにするために担当すると考えております。
07	新年会に候補者を連れて来てほしいと考えております。 それまでに何人面談したのかは報告して下さい。	新年会には何人か候補者を連れていきたいと考えております。 今月末～来月頭から順次アポ取り、面談行なっていく予定ですので、逐次報告させて頂きます。
08	予算にチラシを作成とありますが、何枚残っているのか教えてください。 なぜチラシをつくるのか教えてください。	今年度作成したものが60枚ほど残っています。 次年度は候補者への配布用に240枚、事業例会時配布用に50枚、7月例会時配布用に70枚と考えておりますので、300枚新規に作成したいと思っています。 チラシは捨てられない限り手元に残り目にとまります。人は何回も目にする物への好感度が高まるという研究結果があるので、チラシの様に目にとまることが多いものは有効だと考えています。
09	通信費が入っていますが何に使用するものか教えてください。	理事会審査案内と入会承諾通知書の送付用切手代に考えておりました。 ただ、今はメールやLINE等でも連絡が取れますのでそちらを活用し、案内や通知書は手渡しで直接渡したいと考えています。 よって通信費は削除致します。

● 第02回臨時三役予定者会議

● 開催日 2022年10月23日(日曜日)

● 協議

	指摘・質問	対応
01	育成をあえて入れないという言い方ではなくもう少し違う言い方で表現してください。	育成という文言は入れてはおりませんが、新入会員は各委員会に配属されますので、各委員長と連携し、各委員会内で育成してもらうサポートを行なっていきたいと考えております。
02	7月例会の副題(JCの輪)という副題を外向けにも使用するか教えてください。	外向けには別の題名をつけるようにし、例会(副題)は小さく表示するようにしたいと考えております。
03	現在の情勢的に宗教を感じさせるものは一般市	副題の内容まで含めまして再度検討したいと思います。

	民にとって否定的に受け取られがちです。JCの輪という宗教を感じさせる文言の使用は注意して使用した方がいいかと思います。	す。
04	能動的な仲間の能動的とはどういう意味か教えてください。	自ら積極的動く人のことで、JC活動や拡大についても前向きに動いてくれるという意味合いです。
05	12月例会をJCプロモーション委員会が受け持つ意味を教えてください。	新入会員を卒業生のアテンドとしてつけることでJCの知識や経験を引き継いでいくためだと考えております。
06	能動的な仲間を発掘するとありますが、能動的な人を選びすぐんでいる場合ではないと考えます。修正をお願いします。	「青年会議所活動の魅力を地域住民と共感することで仲間を発掘する。」と致しました。
07	拡大として全員を巻き込むようなシステムをつくっていかなくては委員会での拡大に終わってしまい大きく拡大できません。今一度システムを作るという点も踏まえてJCプロモーション事業の内容を考えてください。	手法としてシステムの構築も念頭にはおいておりましたが、事業内容にまで落とし込んで検討致します。
08	7月例会の事業はどんなことを行なうか教えてください。	今までのJC活動の中から対外向けに成功した事業の楽しさや魅力が伝わるような設えにしたいと考えております。そこに地域住民を呼ぶことで共感してもらい、入会のきっかけとなる例会にしたいと考えております。
09	例会の開催月を変更して下さい。	例会の開催月を、7月から5月に変更致しました。

● 第03回臨時三役予定者会議

●開催日 2022年10月25日(水曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	開催月が変わったことで効果や目的達成に何か違いはあるのか教えてください。	7月から5月に2ヶ月早めることで、早い段階で青年会議所活動の魅力を伝えられ募集活動に取り掛かることができ、効果的に会員拡大活動につなげることができる考えたからです。

● 第3回理事予定者会議

●開催日 2022年10月27日(木曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	共感という言葉が多く使われていますが、青年会議所の目的や意義についての共感という意味合いで使っているのか教えてください。	青年会議所の魅力や楽しさが伝わって同じ方向を向くという意味で共感という言葉を使わせてもらっています。
02	共感することは入会前に必要か教えてください。	理事長所信にも「入ってもらう」のではなく「入りたい」と思ってもらおうと書いてありますので、共感してもらい入りたいと思ってもらうことも重要だと考えています。 しかし、会員拡大は危機的状況であると考えており、共感してもらおうことが絶対に必要だということではないと考えています。 それを踏まえまして「共感することで」の部分を「伝えて」と変更致しました。
03	共感という言葉よりは拡大に向けた言葉を使う方向で再考してみることも検討してください。	適切な文言は何なのか、室長や副理事長と考えさせていただき、「共感」という表現を「伝える」にさせて頂きました。
04	5月例会では現役会員の会員拡大に向けた意識向上等は考えているのか教えてください。	5月例会で会員の拡大に向けた意識の向上を行なうのは遅いと考えています。会員に対しての意識の向上はJCプロモーション事業内でもっと早い段階で行ないたいと考えております。 5月例会では地域の方を多く呼びしその中から仲間

		を発掘する例会にしたいと考えています。
05	JCプロモーション委員会という名前でなくてはならない理由を教えてください。	JCプロモーションという名前なので魅力を伝えていくということも大事であり、候補者含め地域の方に青年会議所の魅力が伝わり少しでもイメージアップが出来ればいいということも考えながら動いていきたいと考えております。
06	この委員会は一年終わった後にどういう状態になっていれば成功だと言えるのか教えてください。	多くの方に入会していただいている状態になっていることが成功だと考えております。
07	5月例会の事業内容内で再認識という文言を使用していますが、再認識ということは今は知られていない状態だということだと思うのですが、いつの時代に魅力があり、それがなぜ失われて、なぜそれを再認識しなくてはならないのか教えてください。	いつの時代に魅力があったのかという点に関しましては確かな根拠を持っておらず具体的に申し上げられず申し訳ありません。 ベーコンフェスティバルや甲府大好きまつり等の外部事業も青年会議所が始めたんだということを改めて地域の方に発信したいと思い再認識とさせてもらいました。
08	認識と再認識の意味合いで大きく変わってしまうと思います。 会員拡大委員会ではなくJCプロモーション委員会として多くの方に魅力を伝えていきたいという中で、再認識という文言を使うのであれば、どこが部分が足りなくてそこをもう一回住民の方に知ってもらいたいというのであれば根拠は持っておいてください。	ご指摘いただきました通り、根拠のないことを元に事業内容を考えてしまったこと深く反省しております。 今一度事業内容含め再考致しました。 再考し「(一社)甲府青年会議所の取り組みを伝えることで、賛同を得る例会を開催する。」と致しました。
09	基本理念の「(一社)甲府青年会議所活動」という言い方はあまりしないので修正してください。	「(一社)甲府青年会議所活動」を「(一社)甲府青年会議所の活動」と変更させて頂きました。
10	JCプロモーション事業の予算の使い道を教えてください。	入会式・新入会員オリエンテーションの会場費に20,000円、チラシ代に40,000円と考えております。
11	JCプロモーション委員会のやることは従来の拡大と同じく候補者の方を紹介してもらって面談をするだけなのか教えてください。	インターネットやSNS等で三市一町の40歳以下の青年経済人を探し、独自のリストを作成しアプローチしていくということもやっていきたいと考えております。
12	広報メディア委員会との差別化はどうするか、拡大に繋がるような広報を行なっていくと思いますが、こういったことを行なっていくか教えてください。	候補者や事業内で出会った地域の方に対して一人一人に魅力を伝えていくことが重要だと考えております。また、5月例会という場を頂きましたのでそこで伝えてきたいと考えております。
13	JCプロモーション委員会としては活動の楽しさ等を伝えていくことが重要だと思うのですが、それが年間事業計画書から伝わってきません。魅力や共感といった言葉を使って簡単に言わず少し泥臭くてもいいので年間事業計画書に落とし込んでください。	ご指摘いただいたことも踏まえて年間事業計画書を再考致しました。 プロモーション委員会として魅力を伝えていくことは重要だと考えていますので「(一社)甲府青年会議所の活動を通じて魅力を伝え仲間を発掘することで、さらなる組織拡大の原動力とする。」と致しました。

● 第02回合同三役会議

● 開催日 2023年11月05日(土曜日)

● 審議

	指摘・質問	対応
01	入会した後のフォローは誰が行うのでしょうか。	入会後の新入会員は他の委員会に配属しその委員会にて育成していただく予定ですが、当委員会も他の委員長と連携をとりながら、例会や事業への参加の呼びかけ等フォローしていく予定です。
02	5月例会は会員対象でしょうか。	地域住民の方々を対象に考えております。
03	5月例会の内容について、取り組みを誰にどう	地域住民の方を対象に伝えていきたいと考えており

	伝えるのか分かりません。 明確にしてください。	ます。
04	拡大するのであれば原動力という表現ではなく、拡大するでいいと思います。	なぜ拡大をするのかを考えたときにただ拡大するのではダメだと思っています。その先も見据えて会員を増やすことで組織としての原動力となることが必要だと考え原動力という表現にしています。
05	魅力を伝えるとありますが、どうやって拡大をするのか教えてください。	現役会員やシニア会員から紹介してもらう旧来の方法とネット等を利用して独自にリストアップした方たちにアプローチをする方法を考えております。地道なことではありますが、お会いした方たち一人一人に魅力を伝えていくことで拡大を行なっていく予定です。
06	入会式は行うのでしょうか。	入会式はオリエンテーションと共に2回実施を考えております。
07	基本理念作成シートの内容が年間事業計画書と違います。 合わせてください。	修正し年間事業計画書と合わせました。
08	なぜ5月に例会を開催するのでしょうか。	5月に開催することで本来拡大活動が少し停滞してしまう後半を迎える前に、後半青年会議所活動の魅力を伝えられ効果的に会員拡大活動につなげることができると考えたからです。 また、4月は新入社員や転職など人が動く月です。5月に開催することで、そのような方々に対してすぐにお声掛けをすることができると考えたためです。
09	予算6万円でどうやって入会式を行うのでしょうか。	例会及び事業の会場を使用することで会場費を抑え開催致します。
10	拡大を隠しているのにもかかわらず例会の名前が広めるように書いてありますが、どういう意図があるか教えてください。	例会名は会員に向けて説明する意味もありますので例会の目的が分かる例会名にさせてもらっています。 外部に対しては別途イベント名をつけることを検討しています。

● 第02回グループ会議
●開催日 2022年11月6日(日曜日)

●会議

	指摘・質問	対応
01	5月例会で賛同を得るとありますが賛同を得ることを結果として集計するのが難しいのではないのでしょうか。 賛同してもらうまで必要ないかと思うので別の表現でいいかと思います。	「(一社)甲府青年会議所の取り組みを伝えることで、賛同を得る例会を開催する。」を「(一社)甲府青年会議所のことを知ってもらうため、会員と地域住民との交流を図る例会を開催する。」と致しました。
02	賛同を得る事よりもまずは知ってもらうことが大事なのではないかと思います。	「(一社)甲府青年会議所の取り組みを伝えることで、賛同を得る例会を開催する。」を「(一社)甲府青年会議所のことを知ってもらうため、会員と地域住民との交流を図る例会を開催する。」と致しました。
03	5月例会の副題はチラシ含めてどこかに記載され外部の方にも見られるので変更した方がいいのではないのでしょうか。	「ひろげようJCの輪」を「つながる、ひろがる、仲間の輪」に変更致しました。

● 2022年度第12回理事会(三役上程)
●開催日 2022年11月08日(火曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	会員一丸とありますが、どのような取り組みを考えていますか。	各グループごとに分けて新入会員候補者の情報を共有する会議を開きたいと考えております。
02	基本理念が、事業のどの部分と紐づいているか	JCプロモーション事業で魅力を伝えて仲間を発掘す

	説明をお願いします。	る主要な部分を担い、5月例会では、JCプロモーション事業につながる地域住民へと甲府青年会議所を広めることを行ないたいと思っています。 12月例会では、新入会員や会員を組織拡大の原動力となる人財になるよう意識を向上させるために行いたいと考えています。
--	------------	---

● 第03回財総予定者会議 ●開催日 2022年11月11日(金曜日) ●審議

	指摘・質問	対応
01	5月例会の予算の内訳を考えている範囲で教えてください。	会場費で30,000円、チラシ代で6万円ほどを考えております。
02		

● 2022年度11月例会(●開催日 2022年11月21日(月曜日) ●審議

	指摘・質問	対応
01		
02		
03		
04		
05		

● 第03回三役予定者会議 ●開催日 2022年11月21日(月曜日) ●審議

	指摘・質問	対応
01		
02		
03		
04		
05		

● 第04回理事予定者会議 ●開催日 2022年XX月YY日(Z曜日) ●審議

	指摘・質問	対応
01		
02		
03		
04		
05		